

笑顔とぬくもりを大切に 寄り添いながら その人らしくいきらしを支えます

グループホームかたぎはら広報誌

きらり ☆ かたぎはら

令和7年
秋号
NO. 21



9月行事イベント

敬老の日は…

笑顔咲くお寿司時間



グループホーム かたぎはら

〒615-8156

京都市西京区桜原百々ヶ池

31-18

TEL(075)393-2201

Fax(075)393-2225



ホームページ
QRコード



敬老の日の9月15日に
「食欲の秋」にちなんで
“美味しいもの”を
食べようとイベント
を企画。美味しいも
のは過去の経験から
も入居者様の大好きな
「お寿司」に決定！




食欲の秋

好きなお寿司を選ぶ

メニュー表を用意して、事前
に寿司ネタを選んでいただき
ました。必要に応じて職員も
お手伝いを行いました。



みんなと食べると美味しい！！

食事は和気あいあいと職員も
利用者の皆さまの輪の中に入
れていいただき、全員の方が
しっかりと完食されました。



みんなことがありました…



お食事を柔らかくしたり、細かく刻んだりして、飲み
込みやすい形に工夫しているご入居者様がいらっしゃいます。「敬老の日には、美味しいお寿司を楽しんでいた
だけたら」と、職員の間でそんな思いが芽生えました。
まずは、かかりつけのお医者様に相談し、その後ご家族
様にもご理解とご協力をいただくことができました。

そして当日、食べやすいように工夫を凝らした寿司
(サイズを小さくしたり、海苔をはずす)をご提供する
と、ご入居者様はご自身で積極的に召し上がり、「食べ
たい」というお気持ちが伝わってくるようでした。
そのお気持ちに心を打たれ、改めて、ご本人様の思いに
気付けるよう努めてまいりたいと
感じました。



出演に向けて練習の日々

春号（5月発行）で記載したとおり、9月の出演に向けて丸竹夷で唄つて踊ろう会 代表、京まち元気プロジェクト代表の増田晶子先生から学んだ職員が中心となり踊りを練習しました。2階、3階の入居者様合同で練習したり、一階の小規模多機能の利用者とも練習しました。



いざ出演当日！オレンジのシャツを着て 「チームかたぎはら」頑張ろう！



出演前に舞台用メイクをしていただきました。緊張の顔が思わず朗らかになりました。

京都劇場の舞台には、ホームの入居者様や小規模多機能の利用者様、そして職員が登壇し、笑顔あふれる素敵な時間を共有しました。付き添った職員からは「スポットライトと拍手を浴びて堂々と踊っておられましたよ」と報告を受けました。

京都劇場で さあ！踊ろう

9月19日（金）

地域交流イベント



「かた。ピー」が登場！
出演の合間にみんなでスタンプラリーを楽しめました。



かた。ピーも活躍しました

当日京都劇場会場横にスタンプラリーのコーナーが設置され、そのスタンプラリーの台紙には、われらが「かた。ピー」が登場！

出演の合間にみんなでスタンプラリーを楽しめました。

出演後は京都劇場の看板前で記念撮影。出演を終え、晴れ晴れとした表情です。お疲れ様でした!!



リフレッシュ

四季の景色、風や香り、音や歩く感触
おでかけで心も体も気分転換



公園体操

8月は気温の高さから、公園での活動はお休みとなりました。まだ暑さの残る9月ですが、熱中症アラートが発令されていない日は、元気に活動に参加しています。



しおんカフェ 9月17日

かたぎはらのご近所にあるシンの里へお出かけです。お誘いした入居者様は「はじめてやな」とウキウキした気分になられました。お茶とお菓子をいただき「コットンボール」作成にチャレンジ。同行した職員はゆっくりと一対一でお話しができたと嬉しい感想が聞かれています。



しおんカフェ 8月21日

桜原公会堂で開催された「しおんカフェ」に参加しました。多くの地域の方々が集まり、会場はとてもにぎやかで、会話も大いに盛り上がっていました。入居者の皆さんも、地域の方や包括支援センターの職員の方々と楽しく交流されていました。



10月行事イベント 運動会

種目



ハツスル

笑顔と元気、今日も元気ハツラツ!
10月 みんなで楽しむ運動会!



ラジオ体操では、皆さん昔なじみの動きを思い出しながら、一生懸命取り組まれていました。

パン食い競争では、取ったパンをすぐに食べてしまう場面もあり、雰囲気が和やかになりました。。玉入れでは、「1個ずつですよ」とお声かけしたのですが、つい夢中になってたくさんの玉を一気に投げ入れる方もおられ、皆さんの勝ち気な一面が見られました。玉の数も入居者様ご自身で数えていただき、大変盛り上りました。





昔も今も、変わらぬみんなの祭り

日 時：8月23日（土） 13時30分～16時

場 所：かたぎはらのセンター 地域交流室

参加者：地域の子どもたち（親子）、福西児童館の子供たち、グループホームかたぎはらの入居者、小規模多機能かたぎはらの利用者

昨年に続き、今年も「かたぎはら」で地蔵盆を開催しました。近年では、地域での地蔵盆が少なくなっていますが、昔ながらの行事を大切にしながら、子どもたちと入居者のみなさんが一緒に楽しい時間を過ごせるよう企画しました。



地域のつながり・文化のつながり



■子どもたちと認知症講座

アニメ動画の視聴をはじめ、グループホームかたぎはらの入居者様参加の「かたピーの人形劇」を楽しんだり、南部包括支援センターの職員さんによる認知症〇×クイズを行ったりしました。



■子どもたちとの楽しい時間

和菓子のワークショップを企画・運営されている SATO 様のご協力のもと、落雁（らくがん）作りを行いました。また、近隣のお寺・龍淵寺の住職による法話を見、最後にはみんなで数珠回しを楽しみました。



編 集 後 記

同ページの「地蔵盆」のイベント後日のお話です。

今回の交流を通して、参加した福西児童館の先生から、印象的な言葉をいただきました。

「“何を食べたかを忘れるのは認知症じゃなくて、食べたこと自体を忘れるのが認知症なんやんな”と、子どもたちなりに少しずつ理解しているように感じました」とのことでした。この言葉を聞いたとき、正直驚きました。短い時間の中でも、子どもたちはしっかりと感じ取り、自分の言葉で認知症を理解しようとしていたのです。子どもが認知症を知ることは、「忘れる」ことへの怖さや偏見をなくし、「どう寄り添うか」を考える第一歩になるのだと思います。今回の交流を通して、世代を超えて支え合う大切さを実感しました。

広報担当：茅原

かたぎはらケアプランセンター



「介護でお困りになっていることございませんか？」

私たちケアマネジャーがご相談させて頂き、介護保険サービス利用等のお手伝いをさせて頂きます。お気軽にお問い合わせください。

「かたぎはらセンター内（1F）
TEL (075) 393-2202
FAX (075) 393-2227